

訪問の経緯

- * 新建先遣隊により被災地を訪問した際に、石巻市北上町十三浜の宮城支部・佐々木文彦さんをお見舞いにかがった。
- * 支援の行き届かない被災地において、電気・ガス・水道が復旧しない中で、日頃からの地域の協力関係（結）をもとに、沢水による水の確保、道路の片づけ、避難所の運営などを地域の力で行っていることをお聞きした。仮設住宅の建設も国の支援を受けて自力で行うつもりもあるという力強いお話しもお聞きした。
- * 佐々木さんは、地域に根ざして活動する建築技術者で、十三浜の復興においても役割を果たすことが期待されている。自宅兼事務所は、RC造の1階事務所部分以外は津波で流されてしまったが、この部分を片づけて地域で活動を行う出張所として利用したいとの希望をお聞きした。
- * 4月下旬に佐々木さんに連絡をとり、片づけのお手伝いを申し入れたところ、必要とのお返事があり、体制をつくり訪問することになった。

参加者

東京支部：安達、櫻井、福島、松木

行動概要

- | | | |
|-------|------|--|
| 4月29日 | 4時 | 東京出発 |
| | 9時 | 山形市到着（安達さんの自宅他で物資等調達） |
| | 13時半 | 河北IC付近の道の駅（上品の郷）で佐々木さんと合流 |
| | 14時半 | 佐々木さんの事務所に到着（石巻市北上町十三浜小指）
ヒアリング（建物の利用希望や作業希望など）・現況確認
片づけ等作業 |
| | 18時 | 片づけ作業終了 |
| | 19時 | 宿泊先到着（避難所となっている追分温泉「峠の家」） |
| 4月30日 | 9時 | 片づけ等作業
子どものケアで避難所に来られている眞鍋さん（聖路加大）とご挨拶。
東北大学の土屋先生とご挨拶。
川の掃除等のボランティアをされている渡部さん（東北芸工大）戸田さんとご挨拶。
宮城支部の新井先生（東北工業大学）に連絡した。佐々木さんの事務所の片づけ作業について学生の支援を検討してもらえとのこと。 |
| | 18時 | 片づけ作業終了 |
| | 19時 | 宿泊先到着（避難所となっている追分温泉「峠の家」） |

5月 1日 9時 片づけ作業

渡部さん、戸田さんに作業を手伝っていただいた。昼食時などで現在の取り組みをお聞きするとともに新建のことも紹介した。夕方、作業終了間際に隣の部落の方が来て、港の丸太片づけにチェーンソー使える人の応援欲しいという相談があった。渡部さんと戸田さんが出勤してくれた。

18時半 片づけ作業終了・十三浜出発

1時 東京着

作業概要と進捗

日影干していた佐々木さんの仕事紹介パネルの片づけ
完了

残したい書類等の片づけ：

ほとんど進まず（まずは乾かす作業が必要）

雨漏りの改善（雨水抜き、屋根かけ）

ホースによる重力ポンプで溜まった雨水を抜いた。

屋根かけは、東側屋根の骨組みづくりとブルーシート貼りまで行った。ブルーシートは帰京翌日に風で飛んでしまい改良が必要。西側屋根（10m×9.3m）の作業も残る。

開口部の改修

ブルーシート等でのカバーができるよう、格子設置まで行った。

持参した資材等

<片づけ作業用>

- * ブルーシート（厚手：5.4m×7.2m） 2枚
- * ブルーシート（厚手：3.6m×5.4m） 4枚
- * ブルーシート（厚手：2.7m×2.7m） 2枚
- * ブルーシート（軽量：3.6m×5.4m） 10枚
- * ネジ（75mm・65mm・41mm） 1箱ずつ
- * ビニールロープ（8mm×150m、6mm×200m） 1束ずつ
- * テープ各種
- * コーキング 2本
- * デッキブラシ 1本
- * ほうき 1本
- * ちりとり 1本
- * 小型発電機（300W） 1台
- * インパクト、鋸、金槌、バール、メジャー、カッターなどの工具 これら持ち帰り

<佐々木さんの業務再開用>

- * 契約書書式 1冊
- * 方眼紙（910角） 5冊
- * 筆記用具

今後の支援時に持参できるとよい資材等

<片づけ作業用>

- * インパクト、鋸、金槌、バール、メジャー、カッターなどの工具（屋根づくり等）
- * 灯油ポンプ（屋根の水抜き用）
- * 西側屋根（9.3m×10m程度）の骨組みづくりのための木材（長さ2.2m程度がよい）
今回は佐々木さんご自宅の残材と避難所の方に提供いただいた稲干しの杭材と竹を使用したが、今後の作業に向けては足りない。

<佐々木さんの業務再開用>

- 基本計画段階の業務書式（発注書、予算書など）
- 実施設計の書式（特記仕様書、外部仕上げ表など）
- 資金計画書の書式・計算プログラム

避難所の状況

- * 避難所利用者は訪問時点で148名。
- * 水について、沢水の水質検査が引かなかったため、別の沢への付け替え作業を行う。
- * 敷地内に浴室小屋を新設した。

外部からの支援状況

- * 仙台の海藤さんという方によるネットワークづくりをきっかけに、渡部さん、戸田さんなどの川の掃除から始めるボランティア団体、東京の団体が支援に入っており、佐々木さんの事務所の東半分を活動拠点として利用している。
- * 「職人をつくる木の家ネット」所属の東京の方の支援で、佐々木さんが代表者となり、「木の家再生支援プロジェクトチーム」として宮城県の応急仮設住宅供給の提案募集に応募できたとのこと。
- * 民家再生協会から、ノートPCやチェーンソー、高圧水洗浄機、発電機などの資材提供支援が行われている。東京支部の大沢匠さんとはここでもつながっている。
- * 東北大学・土屋先生の尽力で避難所に太陽光発電装置が導入されている。別経路の支援にて佐々木さんの事務所屋根にも設置できることになったとのこと。

佐々木さんからのメール（2011/5/10・象地域設計宛）

松木様、象地域設計の皆様 2011.5.10 佐々木文彦

先日は大変お世話になり、ありがとうございました。

松木さん始め象地域設計の皆さんには、事務所のかたづけ・やねのシート張など頑張って頂き大変助かりました。

先日の突風でシートは剥がされてしましましたが、床板をはがしコンクリートスラブの雨漏りの原因 になっていたスリーブ穴8か所ほどを防水テープとコーキング・モルタルなどで処理し、なんとか雨漏りはとまったようです。（仙台の友人の手伝いもらいました。）

5月21日・日本民家再生協会の全国総会で、22日・木の建築フォーラムの総会・報告会があり、共に同じ東京でやるので、いろいろ支援頂いた方々への御礼兼ねて上京します。

各地の震災の報告会もあるようなので、よろしかったら参加いかがですか。

